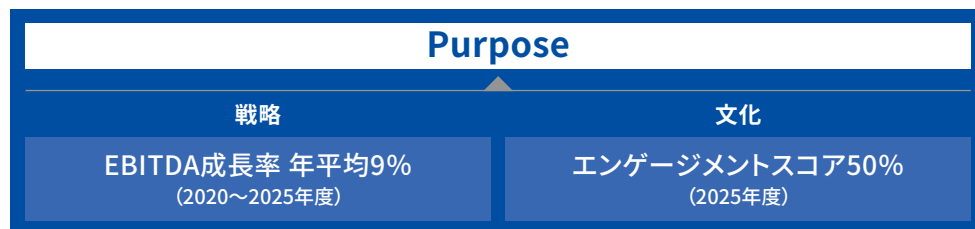


2025中期経営計画

戦略と文化を結びつけPurposeを実現していく

NECグループは、NEC Wayで掲げたPurpose（存在意義）、そしてNEC 2030VISIONの具現化に向けて2025年度を最終年度とする2025中期経営計画（以下、2025中計）を策定しました。2025中計ではPurpose経営を推進するために、戦略・文化の両面で目標とする指標を設定しています。戦略：テクノロジーの強みを顧客価値に転換し、グローバル成長と国内事業のトランスフォーメー

ションを加速させることにより成長を図ります。財務面では、事業戦略と一体化した財務戦略を立て、「長期利益の最大化」を第一に、「短期利益の最適化」を図ります。文化：文化の強さは、戦略を実行しPurposeを実現する人の強さであると考えています。NECグループの共通の価値観であり行動の原点であるNEC Wayのもとに、多様な人材が集い、イノベーションを追求する会社を目指していきます。



中期経営目標

(億円)	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2025年度目標
売上収益	29,940	30,141	33,130	35,000
(2020年度比年平均成長率)	—	0.7%	5.2%	3.2%
調整後営業利益	1,782	1,710	2,055	3,000
(売上収益%)	6.0%	5.7%	6.2%	8.6%
調整後当期利益	1,654	1,672	1,386	1,850
(売上収益%)	5.5%	5.5%	4.2%	5.3%
EBITDA*1	2,958	3,040	3,478	4,500
(売上収益%)	9.9%	10.1%	10.5%	12.9%
ROIC*2	4.7%	3.9%	4.7%	6.5%

*1 EBITDA=売上総利益-販売管理費+減価償却費・償却費

*2 ROIC=(調整後営業利益-みなし法人税<30.5%>)÷(期末有利子負債+期末純資産<非支配株主持分含む>)

成長事業／ベース事業の両輪で収益成長を実現

成長事業を、デジタル・ガバメント／デジタル・ファイナンス、グローバル5G、コアDX、そして次の柱となる成長事業とし、それ以外の事業をベース事業と区分しています。成長事業は、競争優位の獲得・強化のため優先的に資源配分を進め、増収増益を牽引することを目指します。

ベース事業は、慎重な事業環境を前提として、収益性の改善に軸足を置き、着実な利益改善を目指します。

戦略	事業戦略	デジタル・ガバメント／デジタル・ファイナンス事業	<ul style="list-style-type: none"> DG/DF市場でグローバルトップクラスのVertical SaaSベンダへ
		グローバル5G事業	<ul style="list-style-type: none"> 国内での基地局ハードウェア供給業者からソフトウェア領域への事業拡大を含め2030年にOpen RAN市場でグローバルシェア20%を獲得しトップポジションを目指す
		コアDX事業	<ul style="list-style-type: none"> コンサルティングからデリバリーまで一貫したアプローチで提供価値拡大 ICT共通基盤技術とオフリングによる売上総利益改善と価格戦略 ハイブリッドIT(クラウド/データセンター/オンプレミス)、アライアンスや自社製最適化により競争力強化 新たな事業機会(社会/企業改革)、技術/政策運動/End to Endの実装力を活かしDX領域拡大
		次の柱となる成長事業	<ul style="list-style-type: none"> 強い技術とインバウンドを起点に新事業開発実績/手法を活用しNEC 2030VISIONを実現する成長事業を創造
財務戦略		ベース事業の収益性改善	<ul style="list-style-type: none"> 高・中収益事業は競争を上回る利益率を獲得 低収益事業はモニタリング体制を整備し収益性を改善
		長期利益の最大化と短期利益の最適化	<ul style="list-style-type: none"> 持続的に創出するキャッシュ・フローをサステナブルな成長の原資とし、適切なキャピタル・アロケーションと強固な財務/非財務基盤の構築により、企業価値の向上を実現
文化		文化と経営基盤の変革	<ul style="list-style-type: none"> 人・カルチャーの変革 ビジネスインフラの整備 顧客との未来の共感創り